

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課 田和 貢	電話番号	0852-22-5149
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	防災ダム管理及び保守事務		
目的	(1) 対象	ダム下流に居住する農家等	
	(2) 意図	ダム下流の洪水被害をなくし、県土の保全と安全安心な生活を確保する。	
事業概要	・ダム下流農地や集落への洪水被害をなくすため、防災ダムの機器の修繕や更新等を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 適正かつ確実にダム管理ができた日数の割合	目標値		100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義 (管理ができた日数/365日) × 100	実績値	100.0					
		達成率	-	-	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	24,696	74,234
うち一般財源 (千円)	10,756	13,934

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

・県下3箇所の農地防災ダム (清瀧ダム、嵯峨谷ダム、津田川ダム) を適切に管理できた。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

・適切かつ確実にダム管理ができた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」 ・耐用年数に達した機器等については随時更新が必要となる。
②困っている状況が発生している「原因」 ・適切に管理するためには、毎年度管理費用が発生する。
③原因を解消するための「課題」 ・今後とも継続的な予算確保が必要。 ・予算の平準化を図るため、計画的な事業実施を行う必要。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・ダムの維持管理工事については、計画的に実施する。 ・維持管理費の一層のコスト削減を図るとともに、計画的・効率的な事業実施を図る。
--

9. 追加評価 (任意記載)

--

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。